

議席 番号	9	受付 番号	1	令和 7 年 11 月 26 日 午前 8 時 32 分 受 付
----------	---	----------	---	-------------------------------------

令和 7 年 11 月 26 日

四万十町議会議長 緒 方 正 綱 様

四万十町議会議員 中 屋 康

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質問事項（テロップ）	質問の要旨（具体的に記入のこと）	答弁を求める者
高齢者福祉について	「2025問題」が到来し超高齢化社会を迎え、医療・介護体制の逼迫など現実となってきた。本町も例外なく事象が見え始めており、高齢者支援における、住まいの確保の観点から聞く 1、第9期高齢者福祉計画（R6～R8）にある、「高齢者住まい確保」の項にある施設運営について、各施設の充足、待機について計画上の動きの観点から現状を聞く。 2、上記に関連して、高齢者支援住宅2カ所について設置目的と運用の現況を聞く。 ・高齢者安心生活支援住宅（金上野） ・大正生活支援住宅「青空」（大正） 3、「四万十町立特別養護老人ホーム事業経営戦略」の中長期的な基本計画が公表された。 その計画内容について逐次聞く。	町 長
公共トイレ維持・美化について	インバウンドの増加と共に、道の駅、公園等の利用が増えている、特に利用頻度の多いトイレは、清掃の度合いによって観光客の来町印象度が左右されるが、道の駅をはじめ、公園等の公共トイレの清掃委託内容について聞く。	町 長 教育長

議席 番号	4	受付 番号	2	令和 7 年 12 月 1 日 午前 8 時 30 分 受 付
----------	---	----------	---	------------------------------------

令和 7 年 12 月 1 日

四万十町議会議長 緒 方 正 綱 様

四万十町議会議員 村 井 眞 菜

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質問事項（テロップ）	質問の要旨（具体的に記入のこと）	答弁を求める者
外国人労働者への環境整備	・ 四万十町における外国人労働者の方は何名か。 ・ 外国人労働者の方々への環境整備についての取り組みは。 ・ 今後増加すると見込まれる外国人労働者の方と、町民との友好関係構築のために本町としてどのように取り組むか。 ・ ボランティア補助金の補助限度額の増額と補助率を上げるべきではないか。 ・ 生涯学習として日本語教室の開設を。	町 長 教育長
十和小中学校へ自校方式の給食を	・ 十和小中学校の校舎改築の進捗状況は。 ・ 給食を自校方式にし、有機給食のモデル校にしては。	町 長 教育長
高校存続	・ 来年度の入学生を増やすために、どのような取り組みを行っているか。 ・ 地域外生を増やす取り組みは充分か。窪川高校でも地域未来留学を進める必要があるのでは。 ・ 窪川高校、四万十高校の寮整備について現状は。 ・ 町として今後どのような面を支援していく予定か（野球部復活と四万十高校吹奏楽部強化支援など）	町 長 教育長

議席 番号	5	受付 番号	3	令和 7 年 12 月 1 日 午前 9 時 10 分 受 付
----------	---	----------	---	------------------------------------

令和 7 年 12 月 1 日

四万十町議会議長 緒 方 正 綱 様

四万十町議会議員 佐 竹 将 典

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質問事項（テロップ）	質問の要旨（具体的に記入のこと）	答弁を求める者
1 窪川高校野球部復活計画について	(1) 窪川高校野球部復活計画の進捗状況を問う。	町 長 教育長
	(2) 窪川高校野球部を復活させる事が高校振興に最適と判断された理由を問う。	
	(3) この窪川高校野球部復活計画の成功基準を問う。	
	(4) 窪川高校野球部を復活させた場合、想定されている練習時間などを問う。	
	(5) 四万十町には窪川高校と四万十高校が存在するが将来的にどちらの高校を残すのか問う。	
2 韓国高敞郡との交流事業について	(1) 高敞郡との交流事業の目的について問う。	町 長 教育長
	(2) 2012年以降交流事業に使われてきた予算総額を問う。	
	(3) この事業で得た成果をどのように分析し判断されているのか問う。	
	(4) 日韓の国際情勢をどのように判断しこの交流事業を継続されているのか問う。	

令和 7 年 12 月 1 日

四万十町議会議長 緒 方 正 綱 様

四万十町議会議員 下 元 真 之

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質問事項（テロップ）	質問の要旨（具体的に記入のこと）	答弁を求める者
継続する自治体の財政運営について	①近年「深刻な財政危機に直面」している自治体の報道が多発している。本町でも令和11年度からの厳しい財政状況が見えているとのことだが、継続する自治体運営の視点から現在の課題と今後の対応策、考え方を問う。	町 長 教育長
	②令和7年度の当初予算では、財政調整基金を6億5000万円取り崩して予算を組んでいるが、歳入と歳出の不均衡状態を改善させるための自治体としての方向性や考え方は職員間で共有されているか、内容を問う。	
	③物件費について、中尾町政となって以降15億円前後増えた状態（30億円強）が続いているが、ふるさと納税関係とそれ以外の事業について、内容と今後の考え方を問う。	
	④身の丈に合った財政運営について、継続する自治体運営の視点から今後の予算編成（来春の骨格予算）に対する考え方を問う。	
本町の1次産業従事者の減少について	①本町では令和2年の国勢調査時から1次産業従事者の数が大きく減少していると考えられる。2025年農林業センサスの調査結果を受け、内容と今後に対する考え方を問う。	町 長